

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当	
A-780	A-137	24-103	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳)			
The association between alcohol intake and incident atrial fibrillation in older adults: The ARIC cohort 高齢者におけるアルコール摂取と心房細動発症との関連 : ARIC コホート			
執筆者			
Li LY, Li L, Chen LY, Soliman EZ, Alonso A			
掲載誌			
PLoS One. 2024 Nov 21;19(11):e0314207. doi: 10.1371/journal.pone.0314207			
キーワード		PMID	
アルコール摂取、心房細動、 高齢者、 コホート研究		39570908	
要 旨			
<p><b>背景:</b>アルコール摂取と心房細動 (AF) 発症との関連性は、特に高齢者の間では依然として議論となっている。本研究では、地域社会の動脈硬化リスク (ARIC) コホートの高齢者におけるアルコール摂取と AF 発症との関連性を検討する。</p> <p><b>方法:</b>心血管疾患の危険因子を特定することを目的とした地域ベースのコホートである ARIC を対象とした。アルコール摂取量は、面接者が実施する質問票により評価した。AF 発症は、2011 ~2013 年の訪問と 2019 年の間で確認された。参加者は、現在飲酒している者、以前飲酒していた者、または飲酒したことがない者に分類された。以前飲酒していた者は、さらに、週のアルコール消費量に基づいて、軽度、中等度、重度に分類された。共変量には、人口統計学的特性、心血管疾患の罹患率、およびその他の危険因子が含まれた。飲酒特性と AF 発症との関連性は、Cox 比例ハザードモデルを用いて分析を行った。</p> <p><b>結果:</b>参加者は 5,131 名で、平均年齢 (標準偏差) は 75.2 (5.0) 歳、男性は 41%、黒人は 23%、AF の発症は 739 (14%) であった。現在飲酒している者と過去に飲酒した者は、飲酒経験のない者と比較して AF 発症リスクは同等であった (HR 1.04、95% CI 0.83-1.29 ; HR 1.16、95% CI 0.93-1.45)。過去飲酒者の中では、多量飲酒者と中量飲酒者は、少量飲酒者と比較して AF 発症リスクは同等であった (HR 1.14、95% CI 0.84-1.55 ; HR 1.15、95% CI 0.75-1.78)。AF リスクは、禁酒年数 (HR 1.00、95%信頼区間 0.96-1.03) および飲酒年数 (HR 1.07、95%信頼区間 0.96-1.19) の 5 年増加による変化は認められませんでした。</p> <p><b>結論:</b>高齢者におけるアルコール摂取と AF リスクの関連を裏付ける一貫したエビデンスは得られず、高齢者集団におけるこの関係性についてさらに調査する必要がある。</p>			